

## カナダ班「投資先と脱炭素」

鈴木一誠 藤原由翔 森巧光 長田華山 羽田キッティパッド

### 目次

- 1、基本情報
- 2、多文化主義
- 3、投資先としてのカナダ
- 4、参考資料・文献

### 選考理由

カナダには、多文化主義や鉱山資源など日本にはない産業や文化が存在し魅力的な部分が多く考えられたからである。

### 投資先として考えたもの

カナダを投資の観点から考えた際に、今後注目を集める脱炭素に着目し国内で資源として採掘されるウラン資源を投資先とした。理由としては、脱炭素によってエネル

ギー確保に原子力発電が先進国で支持を集め、発電に必要な原料であるウラン資源が採掘される国としてカナダが最適と考えたからである。

### 大まかな結論として

カナダのウラン資源の輸出に関して、航路での輸送ができ日本国内で安くウラン資源を輸入できるとされる。しかし、ウラン資源産出国はカナダに限らずカザフスタンはカナダよりもウラン資源を多く産出できる。そのため、中国が掲げる一带一路に重なることが考えられ、大陸からカナダよりも安価なウラン資源を輸入できる一方で、様々な問題が出てくると予想されるため、注意していく必要がある。